

防コミの歩き方



地域で取り組む「防災活動」と「絆」

●わが町の紹介（ひよどり台防災福祉コミュニティ）

神戸市北区の南端に位置し、総合福祉ゾーンである「しあわせの村」に隣接する戸建住宅や共同住宅が建ち並び閑静な住宅街です。また、平成18年頃より造成された南町エリアには、商業施設も建ち並んでいます。

ひよどり台 地域	ひよどり台 南町地域
昭和50年頃から 造成	平成18年頃から 造成
所帯数≒3,100所帯	所帯数≒430所帯
人口 ≒6,500人	人口 ≒1,500人
65歳以上 43%	65歳以上 5.9%
15歳以下 7.4%	15歳以下 35%
成熟した地域	成長している地域

●活動紹介

①「市民防災リーダー研修会の実施」

地域内の自治会などから選出頂いた防災担当役員に、防コミの活動の基となる研修会を毎年7月に開催しますが、令和4年度はコロナ禍でもあり3回に分けて実施しました。市民防災リーダーテキストを中心にDVD（「市民防災リーダーとは」・「マイタイムラインの作成」）の視聴と当地オリジナルの「地域おたすけガイド・安全マップ」を活用しました。当地の一部には土砂災害警戒区域が設定されており、避難のタイミングや避難経路の設定など「わがこと意識」で取り組みました。

②「こうべBOKOMIフェスタへの参加」

私達の防コミでは、「防災ジュニアチーム（H13年に発足）」を育成しています。昨年10月に開催されたイベントに3チーム（15名）が参加しました。本イベント競技は神戸で初めて開催される催しで、参加に当たり北消防署の全面ご支援を頂き「プロの技」直伝のもと競技会へ挑みました。

ジュニアチームの参加数は9チームで、和気あいあいの雰囲気の中で競技（5種目）を行いました。

※ 結果は見事、優勝！（ジュニアチームの部）



③「ひよどり台南町のブロック防災訓練の実施」

12月に近隣施設の「市民防災総合センター」で北消防署の支援の下、防災ジュニアチームと共に防災訓練を実施、地域住民61名が参加しました。訓練内容は、起震車による地震体験、訓練棟での煙体験、放水体験や水消火器の取扱い訓練等、2時間みっちり楽しみながら勉強させて頂きました。参加者の感想を少し紹介します。

「地震体験では、この揺れが実際に家で起きたらと考えると怖かったです」、「煙体験では、暗闇で煙が充満しているとライトが反射して全く役に立たないことを実感しました」、「放水体験では、水圧がとても高くて私は飛ばされかけました」、「このような体験を経験しておく、きっと災害時に役立つと思います」。



●おわりに

これからも、防災ジュニアチームの育成に取り組みながら、地域としての防災力を維持していきたいと思っています。

【ひよどり台防災福祉コミュニティ 委員長 明石民雄】